



ロクマル

市議会だよりさいたま | No.92 2022.12.1

ロクマル = 60 60人の議員は市民の代表。さいたま市議会の動きをコンパクトに伝えます。

フリーアナウンサー

青木裕子さんが決算特別委員会を傍聴

市議会の印象やさいたま市の魅力などを語っていただきました。



フリーアナウンサー
青木裕子さん



決算特別委員会を
傍聴しました



いつでも安心して帰ってこられる場所
さいたま市はそんな心の支えになるまちです

さいたま市出身でフリーアナウンサーとして幅広く活躍する青木裕子さんに
市議会の印象やさいたま市の魅力などについて語っていただきました。

**もっと知りたい！
子育てに関する身近な議題**

—市議会を傍聴した感想は
いかがですか？

とされる特異な才能のある子への支援、図書館の管理運営、部活動指導員の配置など、子育てにかかわる身近な議題が取り上げられて、どれも興味深かったです。私は今、子どもが通う小学校でPTA活動に参加しているのですが、規模は違うものの、少し似ているなど親近感を覚えました。私たち親と同じように、「子どものために何ができるか」を真剣に考えてくださっている議員の方の熱意にも心を打たれましたね。

—市議会にもっと興味を
持っていたらどうですか？

私は傍聴していて、それぞれの取組の予算や支出、成果、さらに来年度予算まで「数字でもっとくわしく知りたい」と思いました。具体的な数字が提示されると、市民の方も税金の使い道が明確にわかって、ますます興味が湧くのではないかと思います。特に、若い世代の方は現実的なのがありますので、自分た



ちの声がしっかり届いているという実感が湧くような環境をつくるのが大切だと思いますね。例えば直接議員と意見を交わすワークショップのようなものがあると、議会にますます関心を持つてくれるかもしれませんね。

**私を育ててくれた
アットホームな与野のまち**

—さいたま市での思い出を
教えてください。

私は旧与野市出身なのですが、与野夏祭りは毎年とても楽しみにしていました。町内の人たちが御神輿を担いで練り歩く威勢のいいお祭り、小さい頃はお小遣いの五百円玉を握りしめて真っ先に友達と駆けつけていましたね。思い出がいっぱいある、大好きなお祭りなので、結婚してからも子どもを連れて何度か訪れたことがあるんですよ。

—どのような学生生活を
過ごされていましたか？

中学2年生の時の数学の先生がとても熱心で、「挑戦したい人はやってみて」と難解な図形問題を廊下に貼り出していたんです。数学が好きだった私は、それが楽しみで熱心に解いていましたね。同級生と誰が一番に解けるか、ゲーム感覚で競っていました。また、吹奏楽部に入っていたので、与野公園のばらまつりで演奏することが一大イベントでした。

両親の影響で本を読むのも大好きでした。父から譲り受けた『ドリトル先生』シリーズや『十五少年漂流記』『秘密の花園』は何度も読み返しました。古びてしまいましたが、子どもたちに譲って親



**外に羽ばたいていった人たちが
安心して帰ってこられるまち**

—子育てで心がけていることは？

子育てって、ずっと初めての連続なんですよね。同じ子どもでも、今日その子と向き合うのは初めての経験ですから。自分の経験や価値観を押しつけずに、その子の度子どもにも真摯に向き合い、その子にとって何がいいのかを第一に考え、広い視野で子どもの今と未来を見つめたいと考えています。

私は細かく分析するタイプで、例えば子どもが失敗すると、原因や子どもものの性格、今後の対策まで考えてしまいます。一方、夫（お笑い芸人のナインティナイン矢部浩之さん）に相談すると、「そやなく」「なるほどなく」と、いたっておおらかなんです（笑）。子育てに正解はありませんが、たくさん悩ん

える貴重な場所です。各ご家庭の事情から家で勉強できない子どもたちの居場所にもなると思うので、図書館をさらに充実させてほしいです。

子三代で大切に読み継いでいます。また、与野図書館や与野南図書館にも足繁く通っていました。今日の委員会で、図書館のICT化が議論されていましたが、まちの本屋さんが少なくなりました。図書館はたくさんの本に出会

で、真剣に考えて、今できる最善を尽くすことが親の役目なのかなと思います。

—青木さんのこれからの
目標を教えてください。

アナウンサー時代は忙しく働いていましたが、出産後はモデルや執筆業、司会など子どもの生活に合わせた働き方にシフトしました。働き方改革や女性活躍推進で、大人の働き方は進化しつつありますが、社会がどんなに変わろうと子育ての必要性は変わらないと思います。ただ正解は出せていないですが、執筆活動などを通じて、楽しく学べる子育てみたいなことを皆さんと一緒に考えていきたいなと思っています。

—さいたま市に期待することは？

傍聴してみて、多くの議員さんたちが、子どもの未来をはじめ、たくさんのことを真剣に考えていることが伝わってきました。さいたま市は本当に住みやすくていいところだなと思うので、市民の方には安心して生活できるまちだと思えます。外に羽ばたいていった人たちにとっても、いつでも帰れる場所であり、心の支えになるまちであり続けてほしいと思っています。



与野本町の駅前
すごくきれいに
なりましたね！

あおき・ゆうこ

1983年生まれ、さいたま市出身。2005年にTBSテレビにアナウンサーとして入社。報道番組をはじめ、バラエティ番組などでも活躍。2012年に同社を退職し、フリーアナウンサーとして活動をスタート。現在は2児の母として、モデルや執筆など活動の幅を広げて活躍中。

議案第121号 令和3年度さいたま市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について ほか3議案

令和3年度の決算を認定

令和3年度の一般会計決算額は、歳入6,538億円、歳出6,401億円となり、過去最大だった前年に次ぎ2番目の規模となりました。議案審査は、教育、福祉、まちづくりなどの分野ごとに10日間にわたり行われた後、本会議での採決の結果、すべて認定されました。また、審査の過程で指摘した改善点や要望などを提言書にまとめ、市議会から市長に提出しました。



<令和5年度の予算編成に向けた主な提言内容>

- 要支援者等の不便さを共感できる区役所窓口従事者研修による接遇の向上
- 人材育成とデータ活用により、新たな感染症等にも順応できるDXの推進
- ゼロカーボンシティ実現に向けた全庁での積極的な取組
- 用地取得を積極的に行い市民の要望に即した都市公園を整備
- 市職員の時間外勤務の偏りの是正、教職員や医療従事者の働き方改革の推進

議案第114号 令和4年度さいたま市一般会計補正予算(第6号) ほか7議案

新型コロナへの継続対応を図る補正予算議案を可決

新型コロナウイルス感染症への対応や原油価格・物価高騰等への対策のほか、待機児童の解消などに要する経費について、市長から令和4年度の補正予算議案が提出され、可決されました。

<主な事業>

- 新型コロナに係るPCR検査等費用および入院医療費の自己負担分への補助(10億9,173万円)
- 高齢者・障がい者施設の従事者等への抗原検査キット購入費の補助(5億1,480万円)
- 住民税非課税世帯等への1世帯5万円の緊急支援給付金の支給(70億3,072万円)
- 18歳以下の児童を養育する世帯への対象児童1人1万円の応援給付金の支給(23億9,634万円)
- 待機児童解消に向けた認可保育所等の追加整備(2億4,692万円)

議員定数の調査審議結果を第三者機関が報告

さいたま市議会の議員定数について調査審議いただいていた「さいたま市議会 議員定数に関する調査会」から、「現行の60人を維持することを妥当とする」との報告がされました。

議員提出議案第3号 さいたま市の各選挙区から選挙すべき議員の数に関する決議

各選挙区から選出する議員数に関する決議案を可決

さいたま市議会は、各選挙区から選出すべき議員数について、議事機関としての実質的な機能を確保・発揮できる最善の体制となるよう、引き続き緊張感を持って実効的な合意の実現に取り組んでいくことを決議しました。

9月定例会で審議された議案 ▶ 市長提出議案31件、議員提出議案1件/合計32件



議員のQ&A 市のA

9月定例会「代表質問・一般質問」ダイジェスト

すべての質問の様子は、右の二次元コードから、インターネット議会中継（録画配信）でご覧になれます。



代表質問

5党派6人の議員が、市政に対する代表質問を行いました。質問の一部をご紹介します。

質問者

三神尊志／中島隆一／小森谷優
神坂達成／青羽健仁／竹腰 連

民主改革

Q SNSを利用した
便利なオンライン手続きを

オンライン手続きを行うための「電子申請・届出サービス」は使い勝手が悪い。利便性向上のため、LINEなどのSNSでオンライン手続きができるようにすべきと考えるが、今後の展望を伺う。

A

本市は令和7年度までに原則すべての手続きをオンライン化することを目標としている。申請などの入口を一元化するため、汎用的なシステムである「電子申請・届出サービス」の利用を原則としている。昨年にはスマートフォンでも見やすい画面デザインに刷新し操作性の向上を図った。多くの方が使い慣れたSNSと連携することで、申請が手軽になるなど利便性が向上すると考えており、さらなる検討を深め、子育て世帯や高齢者など様々な状況にある方が使いやすいものとなるよう工夫していきたい。

Q 民間システムを活用し
リユース促進と廃棄物削減を

「ジモティー」などの不用品譲渡を仲介する民間のWEBサービスを市ホームページやごみ分別アプリで紹介し活用することで、リユース促進と廃棄物削減が図れると考えるが、市の見解を伺う。

A

リユースの促進については、令和2年に株式会社ジモティーと協定を締結し、手数料をかけずに不用品の引取り手を探す同社のシステムを、ごみの出し方マニュアルやSNSなどで周知している。その結果、不用品譲渡仲介サービスのWEBページにはまだまだ使用できる品々が掲載されている

さいたま自民党

Q 中央区役所周辺施設の再編
市民の声を聴き具体化を

中央区役所周辺の公共施設整備計画について、地元住民の声をどのように具現化し、可視化していくのか。具体的な情報発信が必要と考えるが、その手法を伺う。

A

中央区役所周辺の公共施設再編事業については、今年3月に策定した方針に基づき、中心拠点にふさわしいまちづくり、利便性・快適性の向上、*デジタルトランスフォーメーションの推進など5つの基

* デジタルトランスフォーメーション(DX)

デジタル技術の活用による新たなサービスの創出や柔軟な改変を行うこと。

本方針を示し、区役所など7つの公共施設や「地域の誇りや愛着を持てる場所の創出」など4つの空間づくりの考え方などに整理している。現在作成を進めている基本計画において、配置や管理運営の考え方、事業手法など整備の概要を検討している。市民の皆様には、検討状況の報告会やパブリック・コメントなどにより示していきたい。

**与野中央公園スポーツ施設
具体的計画と進捗状況は**

Q スポーツのできる公園は長年の懸案である。

与野中央公園内に整備予定の総合スポーツ施設の具体的なプランは、また、調節池の構造や具体的な進捗状況、県との連携状況や課題について伺う。

A 与野中央公園内に誘致・整備を検討している次世代型スポーツ施設については、5千人程度収容のメインアリーナと、サブアリーナを一体とした施設を想定し、来年度以降の事業者公募に向け取組を進めていく。また、河川調節機

能と雨水流出抑制機能を兼ね備えた一体型調節池の早期整備に向け県と協議を進めており、今後の各種工事との工程調整や完成後の維持管理上の役割分担などが課題となっている。現在は下水道工事に着手し、遮水矢板設置工事も進められている状況と県から伺っている。

**旧保健センターを活用し
保健所機能を分散しては**

Q 中央区保健センターは令和2年に移転したが、現在の状況と、旧保健センターの将来的な活用計画を伺う。

新型コロナウイルス対応で忙殺されている市保健所の業務を分散させるため、活用する考えはないか。

A 中央区保健センターは令和2年1月に中央区役所別館に移転し、区役所各課との連携の強化や支援の充実が図られたと考える。旧保健センターの活用策として、市歯科医師会の要望を受け、口腔保健センターを開設する方針を決定したが、工事には想定以上の費用と期間を要する懸念が生じてお



地域医療の拠点として有効活用が求められる
旧中央区保健センター(本町東4丁目)

り、他の整備手法も含め改めて検討している。保健所としての活用について、現時点では本市として1カ所に機能と人員を集約する体制を整えているが、今後の新型コロナウイルスの展開によっては、適宜判断していきたい。

公明党

**不登校等の児童生徒へ
さらなる支援の場を**

Q 誰一人取り残さない教育の推進に向け、各都道府県・政令指定都市への設置

が促されている「不登校特例校」と「夜間中学校」。柔軟な運用も視野に、同時に設置すべきと考えるが、市の見解は。

A 特別な教育課程を編成し、児童生徒の実情に合わせ授業時間などを柔軟に調整できる不登校特例校については、他自治体からの情報収集や有識者との意見交換などをしており、今後さらに支援の幅を広げるため、今年度開設した不登校等児童生徒支援センターを土台として議論していく。夜間中学校については、本市も参画する協議会での協議を経て、平成31年度に川口市に設置され、本市の市民も在籍している。今後、新校舎への移転と定員拡充の予定があり、本市も積極的に協議に参画し、引き続きその在り方を研究していく。

**水害から市民を守るため
*田んぼダムの活用を**

Q 国は、あらゆる手立てを組み合わせて水害リスクを下げる*流域治水を推進している。本市でも、「田んぼダム」

を研究していく。

* 流域治水
気候変動による降雨量の増加に対応するため、流域の既存施設の活用やリスクの低いエリアへの誘導など、流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で総合的な対策を実施する考え方。

* 田んぼダム
田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨の際に一時的に田んぼに水を貯留し、その後ゆっくりと排水することで、下流域の浸水被害を軽減するための取組。

の活用や住宅への雨水貯留タンク設置補助の拡大をしていくべきと考えるが、見解は。

A

本市では流域治水推進協議会を立ち上げ、庁内関係課で意見交換をしている。田んぼダムについても、推進を検討すべき施策に位置付けているが、本市の水田は荒川堤外地や見沼田んぼ地内など、河川増水時に湛水^{たん}してしまうエリアが大半を占めており、また、農業者の理解と協力も不可欠である。今後、周辺農地や住宅への浸水被害の軽減効果などを享受できる地区を選定し、事業実施に向け検討したい。また、住宅からの雨水流出抑制施設についても、本協議会で他自治体の事例なども調査し、検討していく。

**高校生も医療費を無償化し
保護者負担の軽減を**

Q

高校3年生までの医療費を無償化し、若い人たちが安心して子どもを産み育てられる社会を実現すべき。今年3月には会派からも要望書を提出しているが、具体的にどの

ような検討がなされたのか。

A

提出された要望書を受け、他自治体の今後の制度拡大予定について調査した。本市と同じ状況にある11の政令指定都市での拡大予定はなかったが、その後、東京23区で来年度から都の助成を受け無償化するとの報道があった。本市には県からの補助がないなど状況の違いもあり、これまでも国に統一的制度の創設などを要請してきた。高校生世代への医療費助成は重要な課題と認識しているが、安定的な実施も肝要であり、対象者や負担の在り方など様々な観点から検討している。今後とも財政負担や他自治体の状況を注視し、検討を進めたい。

**高齢者への交通費助成制度
市でも導入してはどうか**

Q

東京都や複数の政令指定都市で実施されている高齢者へのバス運賃助成制度。公共交通の利用促進や高齢者の健康長寿と社会参加を推進するため、本市でも導入すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A

本市では、移動が困難な高齢者を対象とする「高齢者等の移動支援事業」など、高齢者の生きがいや外出支援につながる取組を進めている。また、一部の路線バスでは、通常より低額な高齢者専用定期券を販売している。さらに、すべてのバス利用者の利便性向上のため、事業者と検討会を開催し、乗継ぎ割引や共通定期券制度の導入などについて協議している。公共交通の利用促進や外出機会

社会情勢や暮らしの変化に対応した
持続可能な地域公共交通の充実が望まれる



自民党市議団

**駒場スタジアムの改修
計画的に取り組むべきでは**

Q

浦和駒場スタジアムの改修は、中長期的・計画的にスピード感を持って財源確保を進めるべき。今後のイベント情報などを把握している他、部局との連携も必要と考えるが、市の見解を伺う。

A

浦和駒場スタジアムの全体改修に向けては、今年度に施設の健全度調査を実施し、来年度に長寿命化に関する方針やスケジュールを検討していきたい。本スタジアムは、(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョンにも貴重な地域資源として位置付ける予定であり、浦和レッズなど関係団体と調整しスピード感を持って検討を進めたい。また、施設の全体改修には多額の費用を伴うため、引き続き庁内関係課で役割分担し、財源を確保するため国費の充当なども視野に入れ、魅力ある施設となるよう維持管理に努めていく。

一般質問

旧統一教会関連団体の資料
黒塗り部分は開示するのか

Q 旧統一教会関連団体によるイベント「ピースロード」からの表敬訪問の資料について、役員である県議・市議の氏名の部分が黒塗りにされていた。元の資料を開示する予定はあるのか伺う。

A 当該団体による表敬訪問については、本市が自転車のまちづくりを進める観点から面会に至ったものと記憶しており、その他のかかわりは一切ない。当該団体は社会的に多くの問題が指摘されており、今後はより慎重な対応に努めていきたい。議員からの依頼により提供した資料のうち、個人の氏名については、個人情報保護の観点からマスクングをしたものである。今回は「情報提供」の形で提出したのだが、今後、情報開示請求があった場合には、その内容に沿って適切に対応していきたい。

10人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。
質問の一部をご紹介します。

質問者

出雲圭子／吉田一郎／松村敏夫
小柳嘉文／斉藤健一／松本翔
伊藤 仕／島崎 豊／川崎照正
川村 準



市の政策・行財政

大規模災害時の被害想定
現状に合った見直しを

Q 大規模災害時の本市被害想定調査における荒川洪水時の避難所収容人数の大幅な不足理由を伺う。また、発表から約10年が経過しており、想定を見直すべきではないか。

A 平成25年度の被害想定調査における荒川洪水時の避難所収容人数28万2千人の不足については、浸水想定区域内の全住民が近隣に避難した

場合を想定しており、広域避難や垂直避難を考慮していない。調査後、市では広域避難先の設定や歩行困難者の駐車場の利用、上層階への垂直避難など防災対策の見直しを行ってきた。なお、被害想定調査の分析は県による調査の結果を考慮したものであり、県の動向を踏まえつつ見直しの実施を検討する。

浸水被害を軽減するため
止水板設置への助成制度を

Q 慢性的に浸水被害が生じる地域は、公助のみでは対策に限界がある。自助を促すためにも、水の浸入を防ぐ止水板などの設置補助制度を一刻も早く創設すべきでは。

A 本市では、計画的に浸水対策施設の整備を進めてきたが、抜本的な整備には多額の費用と時間を要する。そのため、市民が行う自助・共助による対策を組み合わせ、総合的に浸水対策を進めることが有効と考える。止水板設置に対する補助制度の導入については、対象区域や家屋の設定、一部費

用を補助したとしてもなお個人負担が大きい場合があるなど、多くの課題がある。今後、先進自治体の事例を参考としながら、調査研究していきたい。

利用者の声を聴き
スポーツ環境の充実を

Q ナイター照明が暗い堀崎公園の改善を。また、荒川総合運動公園の未利用地にサッカー場を追加整備するとともに、渋滞解消のためゲートの開門時間を早められないか。

A 堀崎公園の照明灯については、経年変化に伴

サッカー場、野球場、テニスコートなど備え多くの市民に利用される荒川総合運動公園



い当初に比べ暗くなっているため、今後、機器更新の際に照度の確保を検討していく。荒川総合運動公園の未利用地については、今後、スポーツグラウンドや多目的広場など利用者のニーズに応えられる施設計画を検討し、活用に努めていく。また、ゲートの開門時間は、保守管理作業が完了する8時半まではグラウンドに入らないなど新たなルールを設定したうえで、8時に開門できるように調整していく。

福祉・保健・医療

物価高騰の今だからこそ高額な保育料の引下げを

Q 本市は隣接自治体と比べ所得階層区分は最少で保育料は最も高い。物価が高騰する中、階層区分の細分化と保育料の引下げを来年度に行うことを求めるが、見解は。

A 本市の保育料は、政令指定都市との比較では中位程度と認識している。階層区分を細分化すると保育料が上

子どもたちの健やかな成長と保護者の生活を支えている保育所



がる方も下がる方もいると考えるが、上がる方に対する経済的影響に配慮しながら、今後、適切な時期に階層区分の見直しなどに着手していきたい。また、本市は国の基準額の70%程度に保育料を設定し、差額は市が負担している。保育サービスを維持するため、現時点では直ちに一律・全体的に保育料を引き下げることは検討していない。

市の歯科口腔保健センター
一日も早い整備を

Q 障がい者など一般の歯科での治療が困難な方

は、県の口腔保健センターでの治療に数カ月待つ状況である。市としても早急な整備が必要と考えるが、今後の方針を伺う。

A 市歯科医師会からの要望もあり、市としても

口腔保健センターの必要性は痛感している。そのため、旧中央区保健センターを大規模改修して新たに開設する方針を令和元年度に決定したが、その後、整備検討会で議論を重ねる中で、改修に想定以上の費用と期間を要することが判明した。現在は当初の方針以外の整備手法も含め改めて検討しており、今後も関係団体と十分な連携を行い整備方針を決定し、予算の確保に向け協議していきたい。

経済・産業

更年期の正しい情報を周知し働く人たちの離職防止を

Q 40〜50代の経験豊かな人材の更年期の離職は、

本人をはじめ企業や社会にとっても損失である。*ヘルスリテラ

シーの周知や研修、休暇制度などが必要と考えるが、見解は。

A 更年期症状の正確な知識を得ることは大変重要と考えている。市職員への支援については、職員向け広報紙を通じ正しい情報を周知し理解向上に努めていくとともに、健康相談窓口では産業医などにより助言を行っていく。また、民間企業に対しても現在実施している企業向けセミナーなどを通じて、働く方それぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できるように、更年期症状への理解を含めた就労環境整備の周知・支援を、一層充実させていきたい。

アニメ作品とのコラボで岩槻人形の積極的なPRを

Q 今年2月の予算委員会
で、岩槻区を舞台の一つとして描いたアニメ「その着せ替え人形は恋をする」のコラボレーション企画を要望したが、その後の進捗を伺う。

A 当該アニメ作品とのコラボレーションの実現は、岩槻の人形を広くPRする

*ヘルスリテラシー
健康についての知識を理解し、活用できる力。

良い機会と考えている。今年度、東京駅周辺で岩槻の人形のプロモーションイベントを開催予定であり、当該アニメの協力が得られるよう調整している。これにより新たなにぎわいが生まれ、本市の魅力発信の機会としていきたい。併せて、ファンの方にも喜んでもらえるよう、作品にちなんだ装飾など、市内でのコラボレーションについても検討・調整を行っている。

まちづくり・環境

**荒川氾濫時の浸水に備え
治水橋の架替えを**

Q 荒川氾濫時には、被災人口30万人以上、左岸では10mの浸水が1週間連続と想定されている。西区にある治水橋の*陸閘は暫定整備のため、橋を架け替え、道路を堤防の高さにまで上げるべきでは。

A 県道さいたまふじみ野所沢線の築堤高までのかさ上げは、堤内の住宅地への影響が大きく難しい状況である。



治水橋(写真右奥)付近の県道で進められる堤防のかさ上げと陸閘の暫定整備

また、治水橋は修繕で対応する計画であり、直ちに架け替える予定はない。堤防の完成形としては、道路高を上げる必要性を認識しているが、治水橋を含む都市計画道路南大通西線の整備時期は未定である。整備には多くの期間と予算が必要であるため、陸閘を暫定整備としていただくことをご理解いただきたい。

**地下鉄7号線延伸事業
現在の進捗状況は**

Q 本市の発展につながる地下鉄7号線延伸に関するし、岩槻*リノベーションまちづくりなどの事業や関係団体との協議、中間駅のまちづくりなど、現在の進捗状況を伺う。

岩槻リノベーションまちづくりの取組は2件が事業化され、今年度は事業周知の講演会を行い、リノベーションスクールも開催予定である。また、地下鉄7号線延伸推進自治体連携会議では、速達性向上事業に関する計画素案などについて3回の協議を行った。中間駅のまちづくりについては、有識者会議を設置し、専門家の助言を得ながら検討を進めており、市民の意見も取り入れながら今年度内に方針を策定したいと考えている。

**中浦和駅周辺のまちづくり
南北に道路を整備しては**

Q 中浦和駅北口周辺の利便性向上のため、市街化調整区域の指定解除が難しいのであれば、まずは、駅周辺を南北に通る道路の整備が必要と考えるが、市の見解を伺う。

A 中浦和駅北口周辺の道路整備については、「中浦和駅周辺のまちづくり」の定期的な勉強会により駅周辺の道路を含む安全対策などが検討されており、市も専門家派遣などの支援を行っている。協議会では、地域住民や事業者、市民団体、市などが協働し、都市計画マスタープランの一部となる「地域別まちづくり構想」の作成を視野に入れ、検討が進められている。道路計画を含めた同構想が早期に作成できるよう、本市として協議会の活動を支援していきたい。

**桜区の浸水被害軽減のため
公共施設に雨水貯留機能を**

Q 内水氾濫の危険を軽減させるため、浸水危険地域付近の公共施設を雨水貯留施設とすることが有効と考える。浸水被害が想定される桜区における今後の整備予定を伺う。

A 桜区内では、油面川排水機場を整備し、7月に供用を開始した。さらなる浸水対策として油面川流域の雨水貯留浸透施設の検討を進め、現在、新開小学校、栄和小学校、桜

* リノベーションまちづくり
空き家や空きビル、使用していない公共空間といった遊休不動産と、人や文化、産業などの潜在的な地域資源を組み合わせ、民間主体の取組により、まちの活性化や課題解決を図る手法。

* 陸閘
堤防を切って設けられた河川への出入口を閉鎖する門のこと。平時は開放されていて人や車の往来が可能だが、洪水時には陸閘が閉められ、堤防としての役割を果たす。

田2丁目公園について基本設計を行っており、今後は詳細設計、工事の実施を予定している。また鴻沼川流域については、県の計画に基づき雨水貯留浸透施設の整備を進めており、桜区内での施設の追加も検討している。今後も順次検討し、引き続き浸水被害の軽減に取り組んでいく。

**北部医療センター跡地
地域の声を聴き活用を**

Q

北区盆栽町にあるさいたま北部医療センター跡地の活用について、地域住民の意見をどのように取り取っていくのか。また、今後の整備スケジュールについて伺う。

A

北部医療センター跡地の活用については、8月に開催した近隣住民との意見交換会において、広場や緑地空間、アーバンスポーツ施設などの整備要望があった。また、今後設置予定の事業者選定委員会には地域の方にも参画いただき、事業者の公募や施設整備のプロセスに地域の考えを反映させていきたい。令和5年度途中

までは跡地の一部を保育園の仮設園舎などに利用しているが、その後速やかに整備に入り、令和8年度を目途にオープンを目指していきたい。

**日進給食センター跡地公園
鴨川堤防との一体整備を**

Q

地域で長年待ち望んでいる日進給食センター跡地公園の今後の整備計画は。また、隣接する鴨川堤防についても、一体的な整備が望ましいと考えるが、市の見解を伺う。

A

日進給食センター跡地の公園整備については、地域住民の意見も伺いながら設計や地下貯留施設の整備を進め、令和3年度には敷地拡張部分の土地売買契約を隣接地権者と締結したところである。今後、令和5年度には全体約7100㎡の修正設計を行い、速やかに工事に着手できるように進めていく。また、隣接する鴨川堤防の整備については、自然環境と公園との調和のとれた整備となるよう、関係部局や河川管理者である県との調整を進めていく。

さいたま市議会からの

お知らせ



○ 年末年始のごあいさつは失礼させていただきます

公職選挙法の規定により、議員が選挙区内の人に年賀状などのあいさつ状を出すことは禁止されております。そのため、年末年始のごあいさつは失礼させていただきます。
さいたま市議会議員一同

公職選挙法では選挙区内においてこのようなことが禁止されています。

議員が年賀状や寒中見舞いなどのあいさつ状を出すこと
(答礼のための自筆によるものは除く)



議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること



議員や後援会があいさつを目的とした有料の広告を出すこと



市民や団体などが議員に対し寄附を求めること



○ 請願・陳情を市議会に届けるには？

市政などについての意見や要望があるときは、どなたでも「請願」「陳情」を文書で市議会に提出することができます。

請願

請願書の提出には、市議会議員の紹介が必要です。審査のうえ、本会議で「採択」「不採択」などが決められます。「採択」された請願は市長などに送り、実現するよう要請します。

陳情

陳情書の提出には、市議会議員の紹介は必要ありません。陳情内容が記載された陳情文書表を議員に配付します。

提出先など

提出先:さいたま市議会 議政局
提出方法:持参または郵送(FAX や電子メールは不可)
くわしくは議事課(Tel.829-1753)までお問い合わせください。

Keyword

ロクマル キーワード

9月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。



『相続登記の義務化』

3年以内の相続登記申請が必要に

登記簿から所有者がわからない「所有者不明土地」による空き家が問題となっています。本市でも平成24年に議員から政策条例として提出された「空き家等の適正管理に関する条例」などにより対策が行われてきました。相続登記が義務でないことが所有者不明土地の大きな要因となっていました。不動産登記法等の改正により令和6年4月から相続登記申請が義務化されることとなりました。

空き家対策としても期待される

本市においても、今後の高齢化社会の進展に伴い空き家の増加が見込まれています。相続登記の義務化は、適切な遺産分割を促し家屋の管理者が不在となることを抑制できるため、有効な空き家対策として期待されています。また、市では空き家発生の予防のため「空き家ワンストップ相談窓口」を設置し、相続や売却などの相談に対し具体的な助言を行い、問題の解決に努めています。

- 相続登記の手続きに関するご案内
 - ・さいたま地方事務局
 - Tel.851-1000(代表)

- 空き家に関する相続、売却、賃貸、管理などのご相談
 - ・空き家ワンストップ相談窓口



- 近隣の空き家に関するご相談
 - ※各区くらし応援室へお問い合わせください。

編集後記

議会広報編集委員会

9月定例会での決算審査では、市民の税金がどのように使われたのか、委員から熱心な質疑が行われました。トピックスにご登場いただいた青木裕子さんもその様子を真剣に傍聴され、市議会への関心を高めていただけたと思っています。さて、今年も残すところあと1カ月となりました。来年も、市議会の活動をわかりやすく伝え、親しみを持って読んでいただける「ロクマル」となるよう工夫を重ねてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- [委員長] 議長 阪本克己 [副委員長] 副議長 松下壮一
- [委員] 松本 翔 出雲圭子 鳥羽 恵
土橋勇司 関 ひろみ 小川寿士
島崎 豊 都築龍太 小森谷 優

さいたま模様



今号の表紙は

見沼区

- クマガイソウ ●カワセミ
- フナノ ●サクラ

見沼たんぼでは、2年に1度、この地域で作られてきた「フナノ」と呼ばれるわら塚が復元されています。燃料や生活用具を作るためのわらを冬場に大切に保存するためのもので、舟の形に似ているため「フナノ」と呼ばれていたという説もあります。

12月定例会を開催しています

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課 (Tel.829-1753)までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

開催日当日、議会棟3階で受付しています。

※感染症対策にご協力をお願いします。



インターネット中継

会議の様をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

※現在、区役所ロビーでの放映は行っていません。



テレビ番組

「ようこそさいたま市議会へ」テレビ埼玉
令和5年1月14日(土) 午前9時30分～放送予定
過去に放送した番組も市議会ホームページで配信しています。



さいたま市議会

検索

市議会のくわしい情報は、さいたま市議会ホームページをご覧ください。

この議会広報紙は636,100部作成し、1部当たりの作成経費は9円です(企画編集の経費を含みます)。

